

報道関係者 各位

平成 27 年 5 月 19 日

【照会先】

職業安定局派遣・有期労働対策部

企画課若年者雇用対策室

室 長 牛島 聡 (内線 5862)

室長補佐 秋山 雅紀 (内線 5333)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3597)0331

大学等新卒者への就職支援の状況について ～「未内定就活生への集中支援 2015」により約3万3千人の就職が決定～

本日、厚生労働省及び文部科学省は、平成 26 年度新規学校卒業者の就職状況を発表しました。

この結果、平成 27 年 4 月 1 日現在の新規大学卒業者の就職率は、96.7%（前年同期比 2.3 ポイント増）となり、平成 20 年 3 月卒業者以来 7 年ぶりの水準となりました。

厚生労働省においては、文部科学省及び経済産業省との連携により、「未内定就活生への集中支援 2015」に取り組みました（詳細は別紙 1）。

高校・大学等とジョブサポーターとの連携による個別支援の徹底により、1 月～3 月末で未内定者約 3 万 3 千人が就職決定しました。特に、平成 27 年 3 月卒の大学生については、同期間に約 1 万 5 千人の就職が決定しました（詳細は別紙 2）。

新規大学卒業者の就職希望率は平成 9 年 3 月卒の調査開始以降で最高となっており、秋以降もあきらめずに就職活動を続ける姿勢がうかがえます（詳細は別紙 3）。

就職が決まらないまま卒業した方に対しても、引き続き、ジョブサポーターによる個別支援を継続し、「未就職卒業生への集中支援 2015」に取り組んでいます（詳細は別紙 4）。

【添付資料】

- 別紙 1 「未内定就活生への集中支援 2015 の取組状況」
- 別紙 2 「平成 26 年度におけるジョブサポーター支援対象就職決定者数」
- 別紙 3 「新規大学卒業者の就職希望率の推移」
- 別紙 4 「未就職卒業生への集中支援 2015」



未内定就活生への集中支援2015の取組状況

新卒者の就職環境は順調に回復している状況にありますが、文部科学省、厚生労働省及び経済産業省は、就職未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、平成27年1月20日から3月末までを集中支援期間とし、「未内定就活生への集中支援2015」を実施しました。

【実績】就職者数：約**3.3万人**（前年度約3.7万人）

※就職希望者数のうち未就職卒業生数（推計値）：約**3.1万人**（前年度約4.2万人）

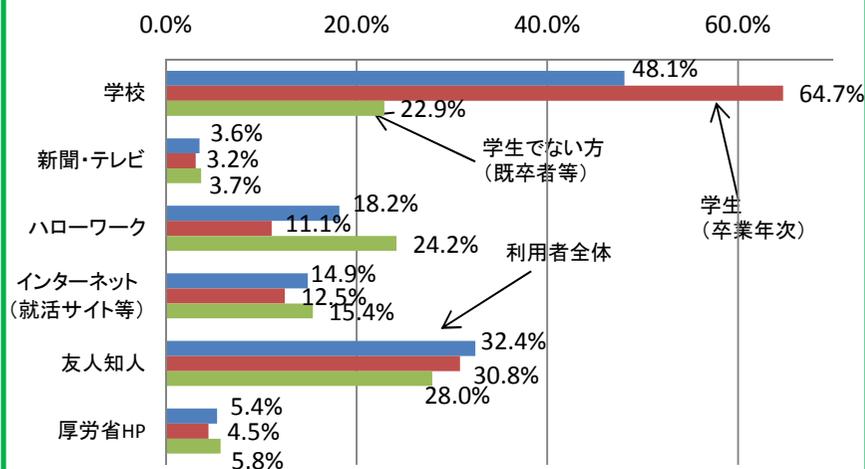
未内定の学生・生徒に「就職をあきらめさせない」ためのジョブサポーターや大学の就職相談員等の連携による個別支援の徹底（文科・厚労*）

【実績（平成27年1月～3月末）】 相談件数 のべ135,026件、**就職者数 33,136人**

大学等から未内定者に新卒応援ハローワークを積極的に周知。大学生の利用者のうち約**65%**が大学等からの送り込みにより、新卒応援ハローワークに来所。

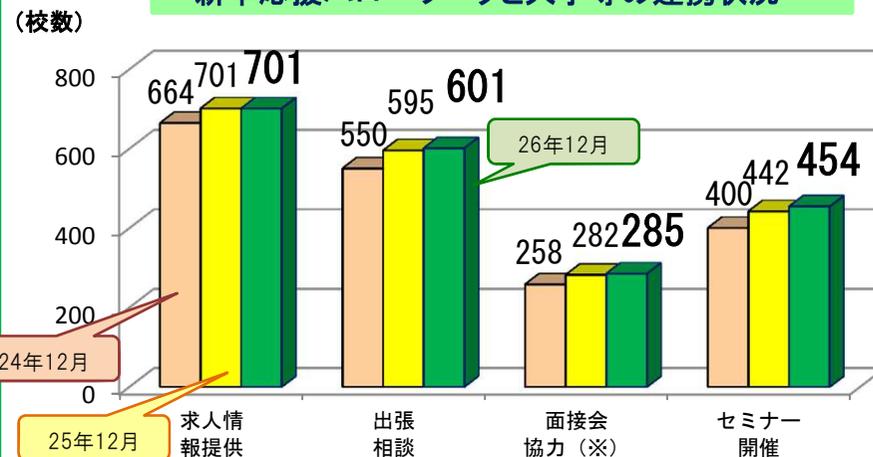
【実績（平成27年1月～3月末）】
のべ利用者数 **90,353人**

新卒応援ハローワークを知ったきっかけ



出所：職業安定業務統計「新卒応援ハローワーク利用者アンケート調べ」（27年2月）

新卒応援ハローワークと大学等の連携状況



出所：職業安定局業務統計「大学との連携状況」（26年12月）

（※）大学が開催する面接会等へのジョブサポーターの派遣、参加企業のあっせんなど

新卒応援ハローワークと大学との連携が進み、平成26年12月末現在で**743キャンパス**※（平成25年12月時点では736キャンパス）が新卒応援ハローワークと連携し、学生の就職支援をしている。

※1大学に複数の校舎があり、それぞれ別の新卒応援ハローワークと連携している場合は、別のキャンパスとしてカウント。

中堅・中小企業中心の就職面接会の開催（厚労^{*}・経産）

未内定の学生・生徒や既卒者のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会を開催。

【実績（平成27年1月～3月末）】

◇大学生向け 232回 / 求人数 21,938人 / 参加者数 11,251人
◇高校生向け 62回 / 求人数 6,113人 / 参加者数 819人

▼就職面接会の様子



地域の大学等との連携による中小企業と大学生等とのマッチング等の実施 （地域中小企業の人材確保・定着支援事業） （文科・厚労^{*}・経産）

地域の中小企業と大学・ハローワーク等が連携し、中小企業と大学生等の交流の場の設定から新卒者等の採用・定着までを一貫して支援する体制を構築しており、これを活用して、3月末までに新たに未内定者向けに合同説明会を開催。

【実績（平成27年1月～3月末）】 20回（約4,300人の学生・既卒者等が参加）

保護者を通じた未内定の学生・生徒への就職支援の周知（文科^{*}・厚労）

未内定の学生・生徒や既卒者を持つ保護者に就職の現状に対する理解を求めるとともに、学生・生徒に対して新卒応援ハローワーク等の就職支援について周知を実施。

【実績（平成27年1月～3月末）】

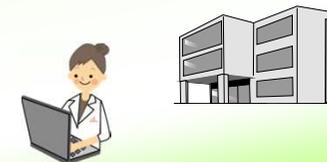
◇保護者への相談件数：8,253件、保護者対象セミナー：45回（548人）
◇啓発文書の送付：40,376通（うち、学校を通じた送付29,172通）



臨床心理士による未内定の学生・生徒の心理的ケアの実施（厚労）

就職活動の長期化等により心理的ケアが必要な未内定の学生・生徒や既卒者に対する新卒応援ハローワーク等に定期的に配置した臨床心理士による心理的ケアを実施。

【実績（平成27年1月～3月末）】 相談件数：のべ987件



民間就職情報サイトによるジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知（厚労）

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターや新卒応援ハローワーク等の支援の周知のためのバナー掲載について協力いただき、未内定の学生への周知を徹底。

- | | |
|--|---------------------------|
| ○「就活ラボ2015」： https://www.ac-lab.jp/2015/top/index.php | （運営）株式会社 アクセスヒューマネクスト |
| ○「[en]学生の就職情報2015」： http://gakusei.en-japan.com/ | （運営）エン・ジャパン 株式会社 |
| ○「朝日学情ナビ2015」： http://www.gakujo.ne.jp/2015/index.aspx?p0=99 | （運営）株式会社 学情 |
| ○「Re就活」： http://re-katsu.jp/career/index.aspx | （運営）株式会社 学情 |
| ○「就職ウォーカーNet2015」： http://www.s-walker.net/2015/ | （運営）株式会社 ジェイ・ブロード |
| ○「ダイヤモンド就活ナビ2015」： https://navi15.shukatsu.jp/15/ | （運営）株式会社 ダイヤモンド・ヒューマンリソース |
| ○「日経就職ナビ2015」： https://job.nikkei.co.jp/2015/top/ | （運営）株式会社 日経HR、株式会社 ディスコ |
| ○「ISC就職支援センター」： https://www.ejob-flex.com/ | （運営）株式会社 フレックスホールディングス |
| ○「ブンナビ！2015」： https://bunnabi.jp/2015/index.php | （運営）株式会社 文化放送キャリアパートナーズ |
| ○「マイナビ2015」： http://job.mynavi.jp/2015 | （運営）株式会社 マイナビ |
| ○「ユニクリナビ2015」： http://unicrenavi.com/ | （運営）株式会社 ユニバースクリエイト |
| ○「リクナビ2015」： https://job.rikunabi.com/2015/ | （運営）株式会社 リクルートキャリア |

※ 複数の省が連携して実施している支援メニューについての問い合わせ先は、*印の省へお願いします。

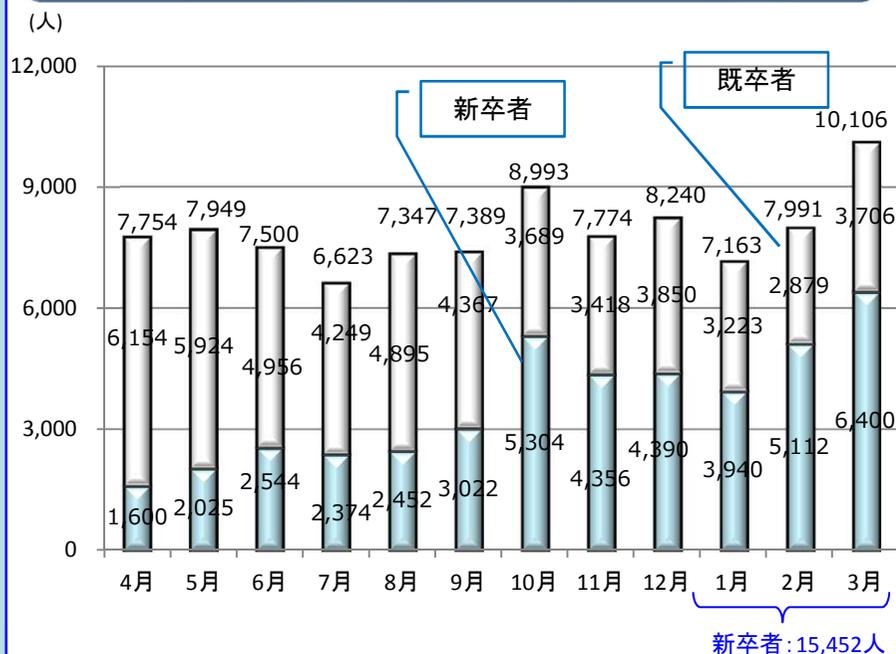
平成26年度におけるジョブサポーター支援対象就職決定者数

- ◇ 年度前半は未就職卒業者が多く、年度後半は現役の未内定学生が増加する傾向となっています。
- ◇ ジョブサポーターの新卒者（大学4年生等）に対する支援は、主に卒業が間近に迫った年度後半を中心に実施しており、大学と連携することにより、年度末までに未内定の学生を新卒応援ハローワークに登録し、学生に対し切れ目のない支援を提供しています。

【実績】

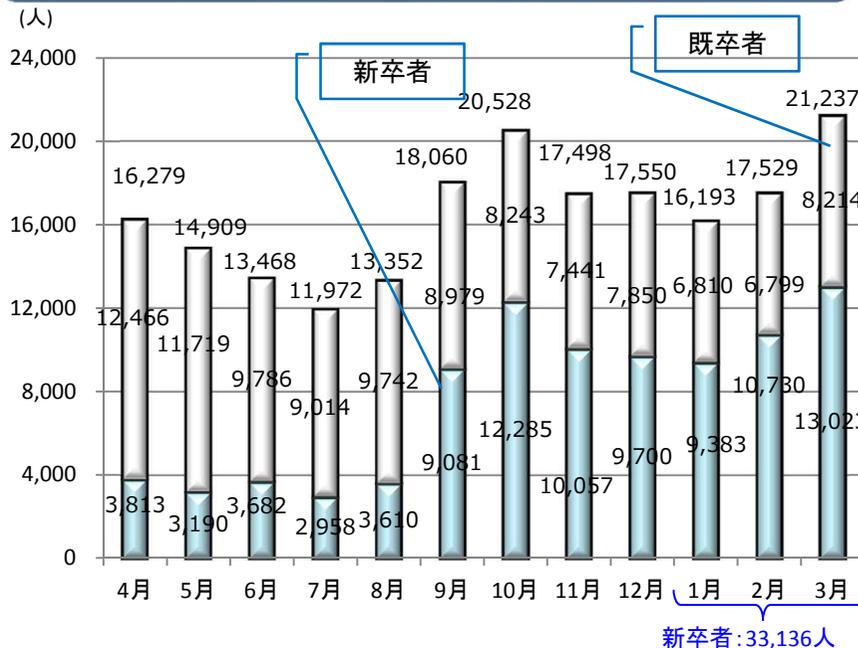
- ◇平成27年3月卒業者の平成27年1月～3月末の間の就職決定件数は**33,136人**（前年度比11.4%減）
（うち、**大学生15,452人**（前年度比10.8%減））。
- ※平成26年1月～3月末はそれぞれ、37,413人（うち、大学生17,314人）。
- ◇大学生の就職決定件数（平成26年度計）は**94,829人**（前年度比0.6%増）、うち**新卒者は43,519人**（前年度比2.6%減）、**既卒者は51,310人**（前年度比3.5%増）となった。
- ◇学歴計の就職決定件数（平成26年度計）は**198,575人**（前年度比0.9%減）、うち**新卒者は91,512人**（前年度比2.3%減）、**既卒者は107,063人**（前年度比0.3%増）となった。

大学生就職決定件数（新卒・既卒）



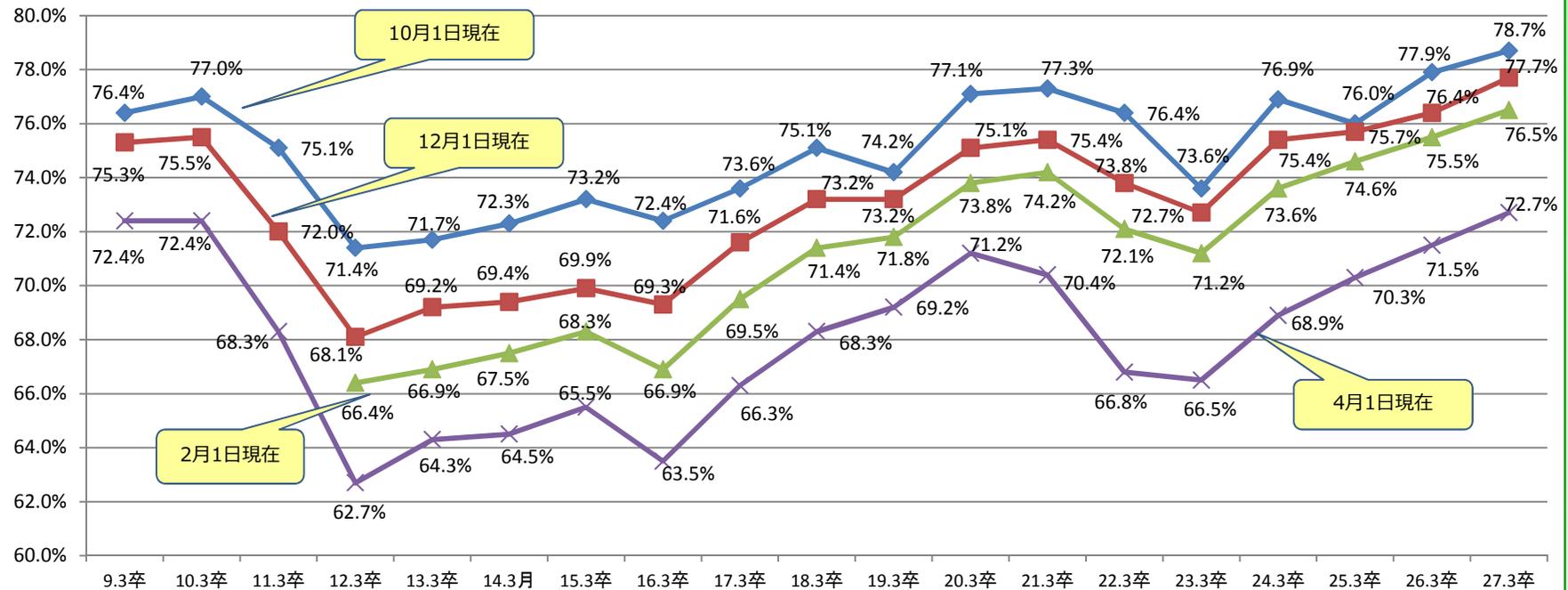
(出所)職業安定業務統計

就職決定件数（新卒・既卒/学歴計）



新規大学卒業者の就職希望率の推移

- ◇ 新規大学卒業者の就職希望率は、上昇傾向にあり、多くの企業が内定を出す10月1日以降もあきらめずに就職活動を続ける姿勢がうかがえます。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2015」に取り組んでいます（詳細は別紙4）。



(資料出所)「大学等卒業予定者就職内定状況調査」(厚生労働省・文部科学省)
 (注)就職希望率は、卒業予定者数に占める就職希望者の割合。



未就職卒業生への集中支援2015

- ◇ 厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、1月20日から3月末まで「未内定就活生への集中支援2015」に取り組み、1月から3月末までにジョブサポーターの支援によって、**約3万3千人**が就職しています。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、**卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し**、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2015」に取り組んでいます。

新卒応援ハローワーク等で卒業後も継続して就職活動を全力で支援します！

新卒応援ハローワーク等においては、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による支援(大学等の協力により把握した未内定者への電話による来所勧奨や求人情報の送付など)を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などの個別支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

◆新卒応援ハローワークの所在地・連絡先：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/5a.pdf>

就職面接会の開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を随時開催し、企業との出会いの機会を増やします。

地域の大学等との連携による 中小企業と大学生等との マッチング等の実施

全国47箇所に設置された地域人材コーディネート機関が、自治体・地域金融機関・大学などと連携し、地域の中小企業・小規模事業者の人材ニーズを把握して、合同企業説明会・短期就業体験・経営者や従業員との交流会などを実施することで、紹介から定着までを一貫支援します。

◆中小企業庁ホームページ：<http://www.chusho.meti.go.jp/hojyokin/2015/1502132712jinzai.pdf>

さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練や紹介予定派遣を活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等 によるスキルアップ

求職者支援制度による職業訓練において設定される未就職卒業生向けの無料の職業訓練や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。

◆詳しくはお近くのハローワークまでお問い合わせください：<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>

紹介予定派遣を活用した 正社員就職の支援

未就職卒業生を対象に派遣元での研修と派遣先での派遣就労(紹介予定派遣)を実施し、社会人としての基礎的スキルと経験を積み、派遣期間終了後の派遣先での正社員就職を支援します。

◆紹介予定派遣活用型正社員就職応援事業(若者キャリア応援制度)：<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000045159.html>

～未就職のまま卒業された方に対する就職支援を継続して行います～

○ 卒業後も引き続き、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等による支援を継続し、1日でも早い就職を目指します。

未就職のまま卒業された方のうち、
新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等の
支援による就職の実績

◇平成26年4月～6月：16,531人

◇平成25年4月～6月：19,755人

◇平成24年4月～6月：24,663人

◇平成23年4月～6月：19,815人

<ジョブサポーター等の支援による未内定卒業生の就職事例>

事例1

高校在学中は接客を中心に応募はしたものの全て不調に終わり新卒応援ハローワークに来所したDさん。本人は依然として接客希望だったが、面談で感じたこと、性格やコミュニケーション能力等を考慮し、「真面目でコツコツと最後まで諦めない性格を活かし、これからは製造業を応募してみては？」と提案し、了承を得た。本人のスキルも考慮し、一般求人は避け高卒求人を探したところ、食品製造で本人も興味をもった事業所が見つかり、応募の結果、採用が決まった。また、当事業所もこのことがきっかけで高卒3年以内の既卒者を積極的に採用していただいた。

事例2

県外の大学を卒業後、ハローワークに来所したCさん。在学中にも就職活動をしていたが、内定を得ることが出来なかった。来所当初は、落ち込んでいた様子であったが、職業相談を重ねるうちに笑顔も見られるようになり、ハローワークが実施する応募書類作成セミナーや模擬面接、バス見学会にも積極的に参加する等、前向きな姿勢がみられるようになった。そして、バス見学で訪問した製造業の総合職に応募。事前に見学をしていたことから、面接対策を十分に行うことができ、無事に採用となった。

事例3

大学卒業後3年目のAさん。アルバイト等就労経験が無く、いざ応募になると躊躇。当初心を開かず頑なに求人検索を繰り返していたが根気よく声掛けを実施。人間関係が構築された頃、小学校よりずっといじめにあってきたことを聴取。心理サポートの利用と並行し、自身の得意分野に気づきを得てもらうため短時間就労を提案、アルバイトを開始した。その後も継続的に話を聴く中で、アルバイトを通して働くことの大変さと楽しさ、人間関係の必要性を学んだとのこと。本人の希望職種と正社員就業の意向が高まったことを確認し、面接会への参加を勧奨。面接練習を数回実施のうえ面接会に参加したところ、面接会参加企業に採用となった。

事例4

大学卒業後、大学病院の契約社員として勤務していたBさん。正社員として長期的に勤務したいとの思いから退職し、就職活動を行うもなかなか就職が決まらず新卒応援ハローワークに来所し、相談を始める。病院での勤務経験から、医療関係に応募していたが、新卒応援ハローワークで相談を重ねるうちに医療という名前だけに拘っていたことに気づき、またヒアリングにより自分の価値観や得意能力、将来展望が明確になり、一般企業にも自分のやりがいを見つけることができることに気づくことができた。業種、職種の選択と応募書類の書き方等を支援した結果、営業事務職に応募、採用となった。